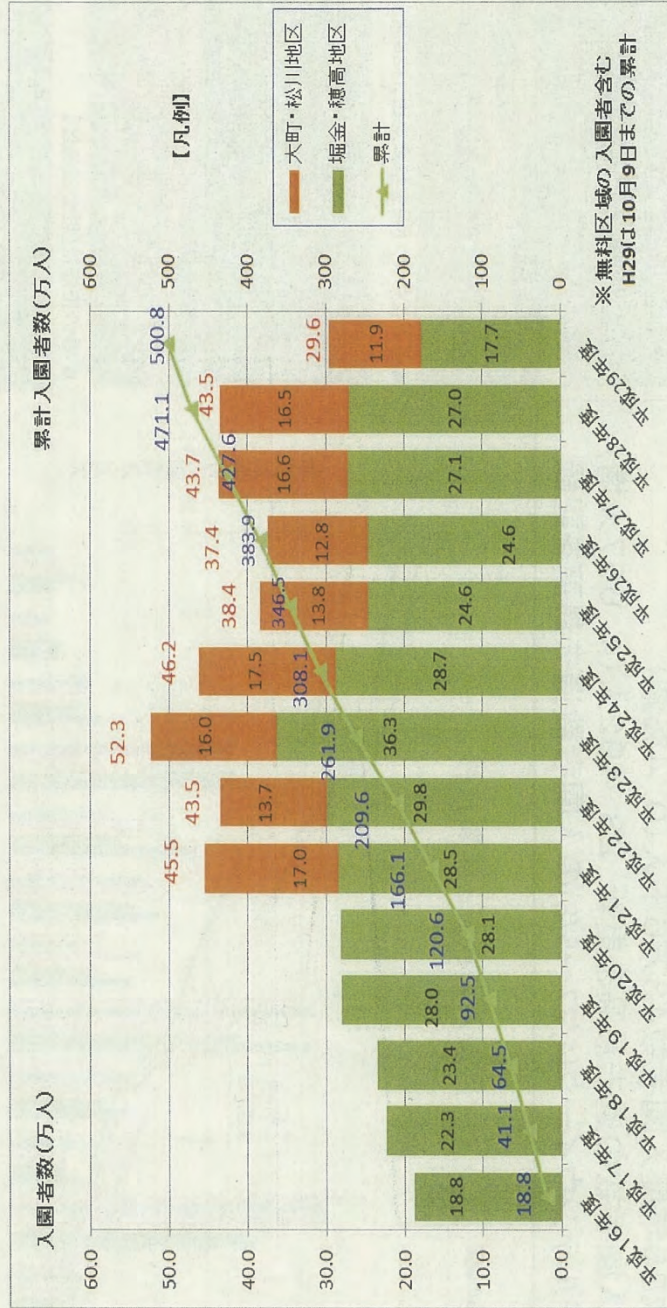


これまでの年度別利用状況の推移



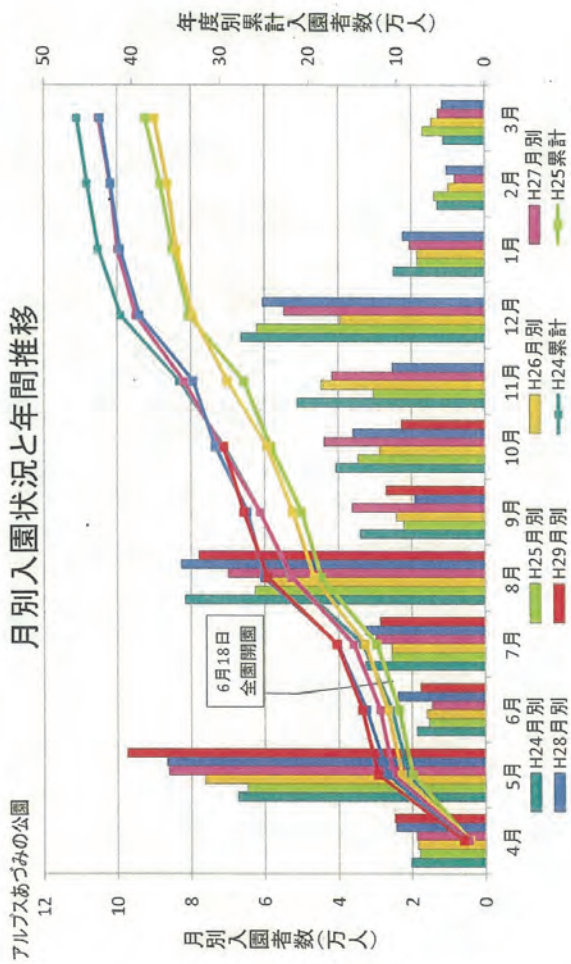
草木 木子

国営アルプスあづみの公園 年度別入園者数の推移



月別利用状況の推移

- ・平成28年度入園者数43万6千人(0.4%減)
- ・5/4入園者数の過去最高を更新 28,492人(4,667人増)
- ・ゴールデンウィーク(4/27~5/8)の入園者数過去最高を記録



地区別入園者数

地区	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
堀金穂高地区	286,488	246,169	246,219	271,019	270,172	177,471
大町松川地区	175,439	138,433	127,864	166,140	165,436	118,605
アルプスあつみの公園	461,927	384,602	374,083	437,159	435,608	296,076

※平成29年度は10月9日での入園者数



▲春の花修景【堀金穂高地区】H28開園エリア



▲春の花修景【堀金穂高地区】



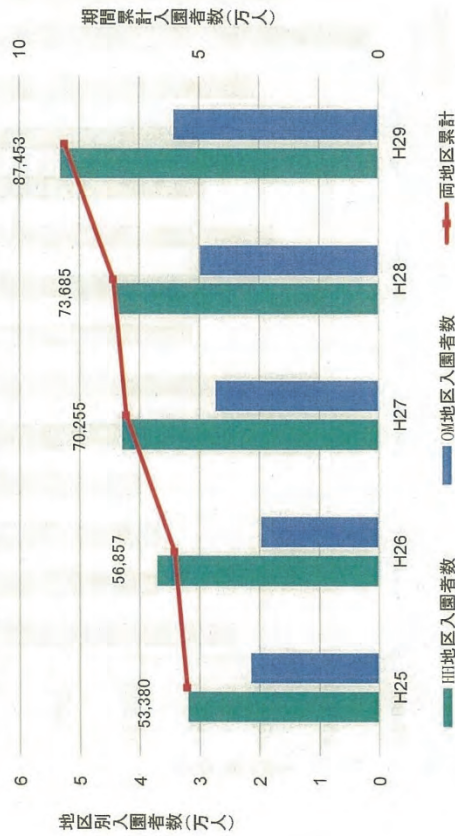
▲桜のアルプスあつみのセンチュリーライ

ゴルフデンマークの利用状況の推移



◆ゴルフデンマーク期間の地区別入園者と年間推移

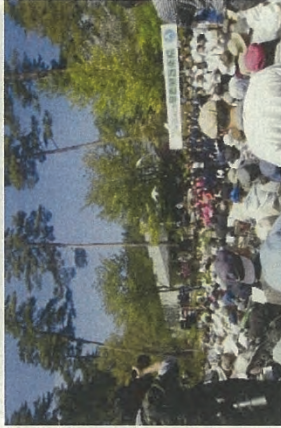
H29年度は両地区とも過去最高を記録。昨年度より、約1.4万人増加



地区別入園者数

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
堀金穂高地区	31,919	37,103	42,932	44,009	53,190
大町松川地区	21,461	19,754	27,323	29,856	34,263

※ゴルフデンマーク期間 4月27日から5月8日までの12日間を集計



早春賦音楽祭



里山文化ゾーンの新ノハナ



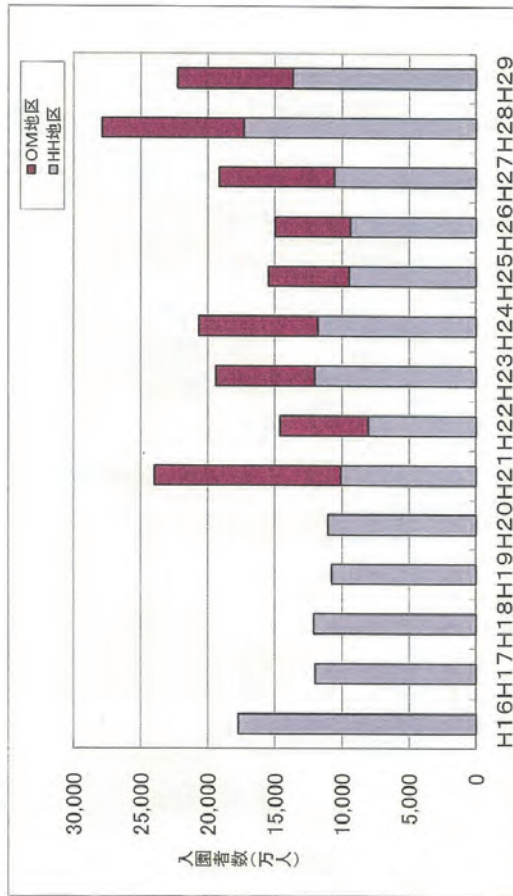
田園文化ゾーンのチューリップ

お盆期間中の利用状況の推移



◆お盆期間中(8/13～16)の利用状況の推移

H29年度は天候不順であったが、過去最高のH28、H21のOM地区開園に次ぐ、過去3番目の入園者数を記録。



地区別入園者数(人)

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
堀金・穂高地区	17,717	11,999	12,102	10,770	11,042	10,065	8,020	12,016	11,785	9,471	9,381	10,561	17,306	13,659
大町・松川地区	0	0	0	0	0	13,889	6,581	7,379	8,856	5,984	5,620	8,606	10,574	8,606
合計	17,717	11,999	12,102	10,770	11,042	23,954	14,601	19,395	20,641	15,455	15,001	19,167	27,880	22,265



サマーイルミネーション(8/11～20)堀金穂高地区



ニジマスのつかみ取り(7/15～8/27)堀金穂高地区



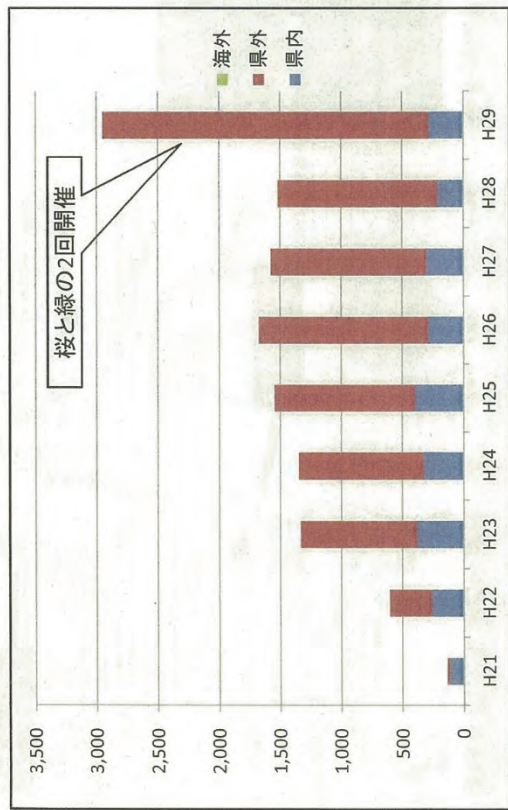
スプラッシュリバー(7/15～8/27)大町松川地区

アルプスあづみのセンチュリーライドについて



◆ AACRの参加者の推移

- ・参加者が年々増加し、参加が難しいイベントに
- ・H29年度より、4月、5月の2回開催
- ・**県外の参加者が約9割を占め、殆どが2泊滞在**
- ・新たに大町・松川地区でAAPE(3時間耐久)を開催



参加者の推移

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
県内	112	260	380	327	396	289	306	212	281
県外	24	344	954	1,021	1,151	1,386	1,269	1,304	2,667
海外	0	0	0	0	0	0	0	0	3
合計	136	604	1,334	1,348	1,547	1,675	1,575	1,519	2,948

他県からの参加状況

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
最北端	埼玉県	栃木県	栃木県	北海道	宮城県	北海道	北海道	宮城県	北海道
最南端	滋賀県	岡山県	福岡県	熊本県	福岡県	熊本県	大分県	大分県	熊本県



4/23 桜のセンチュリーライド



5/21 緑のセンチュリーライド



7/30 パークエンデュロ(OM地区)

国営アルプスあづみの公園 管理運営プログラム 事業の効果

① 多様なレクリエーション需要への対応

- 日本の原風景でもある北アルプスの麓、安曇野地域に位置する本公園は、歴史、文化などの豊富な観光資源とも連携し、自然や里山の景観を情報発信することで多様なレクリエーション需要が見込まれます。
- 北アルプス山麓に位置する堀金・穂高地区での田園・里山の体験、大町・松川地区の野外での本格的アクティビティを体験できる2地区分散型(ツインパーク)を定着させ、水や緑と四季の美しい風景を愉しめる公園としてのより一層の魅力を高め、田園・里山風景や自然森林の中での自然体験・野外教育(体験学習やスポーツに親しむ)、安曇野の原風景に触れ合える空間として利用者の多様なライフスタイルのニーズ等に対応します。

◆多様な観光資源との連携



◆多様なライフスタイルのニーズに応える自然体験・野外学習



川遊び



つり体験(フイッシングパーク)



伝統行事の三九朗と蘭玉体験
2/12 参加者70人



音ながらの「はぜがけ」体験
9/22 44人参加

北アルプス麓の様々な観光資源

国営アルプスあづみの公園 管理運営プログラム 事業の効果

② 観光振興や周辺への滞在・周遊促進による地域活性化

- 100mの標高差のある本公園2地区と周辺観光施設との連携や四季折々に様々な催事・行事の期間設定等により、滞在・周遊による地域活性化の効果を生み出しています。
- 全国開園(平成28年6月)により、周辺施設への立ち寄りや夏季等の増加が期待され、また、今後のインバウンド需要も踏まえ、宿泊施設や周辺観光施設との連携による多様なプログラムやツアー構築を通じ、安曇野での周遊促進や民泊を含めた宿泊による地域活性化が期待されます。

◆アルプスあづみのセンチュリーライド (サイクリングイベント)

- 地元住民と協力し、園内で水分、食べ物の補給地点を運営
- 参加者は、安曇野～白馬地域(往復約160km)まで広く地域の魅力を体験。H29年度は参加希望者が多いことから、桜のAACR(4/23 1452人)、緑のAACR(5/21 1472人)の2回実施。
- 県外からの参加者が約9割を占め宿泊・滞在も誘発



園内での走行の様子



エイドでの地域の食提供

◆農家民泊と公園・周辺体験施設利用

- 1泊目＝旅館、2泊目＝農家泊。その間に公園のプログラムや、地域内のラフテイング(梓川、犀川)などの体験を織り込む「農家民泊」のスタイルを構築。公園も関与して地域の資源を活かした周遊のしくみを構築。



- 24年度の開始当時は1校39名の参加(民泊受け入れ農家数:15軒)が、28年度は3,155名(農家65軒)が参加。

リンゴの摘花作業体験



森の体験舎での食体験

◆気球搭乗体験

- 園内での熱気球係留飛行搭乗体験と周辺宿泊施設の宿泊をセットにした旅行企画を実施
- 周辺宿泊ツアー参加者約2600人を含む4,045人の気球搭乗体験は観光振興にも貢献。



気球搭乗体験

◆外国人のプログラム体験

- そば打ちなど安曇野らしさを体験できる多様なプログラムを提供し外国人観光客の誘致を促進。



そば打ち体験

国営アルプスあづみの公園 管理運営プログラム 事業の効果

③ 希少な自然資源、緑環境の保全・継承

- 本公園は永続的に土地を担保し、適切な管理を行うことにより、緑豊かな環境と地域景観、貴重な動植物の生息生育環境を包括的に保全することができます。
- 昭和30年代の風景の面影が色濃く残る堀金・穂高地区の里山文化ゾーンでは、オオルリジミなどの希少な動植物の繁殖環境の保全や穂高地域の特産品である天蚕の飼育、加工の取り組みを通じ、生物多様性や地域固有の環境、これらを支える技能・技術の保全の効果が期待されます。
- さらに、多様な体験学習などの機会を通じて様々な人々の交流を生み出す効果が期待されます。

◆オオルリジミの繁殖環境の継続的な保全



理瑠蝶 オオルリジミ

- 繁殖環境約1haをサンクチュアリとして位置付け、オオルリジミ保護対策会議、信州大学との協同研究により繁殖時の天敵であるメアカタマゴバチを特定。その駆除のため毎春に有効な「野焼き」を連携のもとで実施。毎年オオオルリジミの自然繁殖を確認。



サンクチュアリ (保護区)

- 体験プログラムにより、地域の子供にオオルリジミと触れ合える機会を提供。繁殖地以外の園内の別ゾーンでも飛翔を確認。



オオルリジミのサナギを放そう
5/5 参加者48人

◆天蚕の生産環境創出・飼育・加工技術の発信・継承

- 安曇野市穂高地区はヤマユガ(やまこ)の繭糸を生産・加工する天蚕が特産のひとつ。食草であるクヌギを園内で育成。



やまこの繭



やまこ繭育林の整備

- 地元生産者の指導のもと、飼育の技法を伝え学ぶ機会を「さとやま楽校」のプログラムの一環として展開。現地での夜間羽化観察等のプログラムを含む、やまこの教室を開催。



やまこの教室「糸作りワークショップ」
5/26 41人参加



やまこの繭を使った産繰りの実演

国営アルプスあづみの公園 管理運営プログラム 事業の効果

④ 安曇野地域の風土や文化の発信・継承と防災への貢献

- 全国開園を契機に豊かな自然と地域文化を活かしたプログラムの内容を充実させていくことで、多くの利用者及び地域の次世代に安曇野の風土や文化を発信し、継承する一翼を担うことが期待されます。
- 大規模災害の際には広い敷地を活かした後方支援拠点としての役割を担っていることから、施設の維持管理や防災機能の強化を図り、有事の際の安全安心の拠点としての効果を発揮できます。

◆ 風土・文化・芸術イベントの継承、育成



早春賦音楽祭 5/4 17,100参加



花の芸術「恋華めぐり」



伝統芸能、奉納太鼓の演奏 7/29・30開催予定

○ 北アルプス国際芸術祭(6/4～7/30)

平成29年度に大町市一円での開催中。ワークショップで絵付けしたプロペラを屋外アートとし園内に展示。



「空のポスト」ワークショップ 約700人参加



「キリュウダム」ワークショップ

◆ 防災意識の啓発・災害時における支援拠点

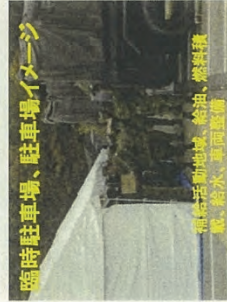
○ 消防フェスタおおまち

市民の防災意識向上を目的としたイベントを開催。消防車展示、救助体験小屋の消火の実演など防災体験の機会を提供。



消防フェスタで地域防災の啓発 (10/1開催予定)

○ 災害時における公園施設の利用協定 (陸上自衛隊による利用:平成26年7月締結)
・河地区でそれぞれ宿営場所やヘリポートを設け、後方支援拠点の役割を發揮。



臨時駐車場、駐車場イメージ



公園広場の利用イメージ

ヘリポート、物資の集積・積載

<その他提供資料リスト>

資料名	発行・製作	発行年	仕様
2017 年度イベント情報	アルプスあづみの公園		A3 4 ページパンフレット、 2 つ折り両面カラー
さとやま楽校 堀金・穂高地区 平成 29 年度参加者募集のご案内	アルプスあづみの公園 堀金・穂高管理センター		A3 4 ページパンフレット、 2 つ折り両面カラー
アウトドアパーク in 国営ア ルプスあづみの公園 堀 金・穂高地区	アルプスあづみの公園 堀金・穂高地区		A4 パンフレット両面カラー
堀金・穂高地区 秋コスモ スの花フェスタ 大町・松川地区 秋晴の 溪フィッシングガーデン	アルプスあづみの公園		A3 4 ページパンフレット、 2 つ折り両面カラー
大町・松川地区 北アルプ スフェア 2017	アルプスあづみの公園 大町・松川地区		A4 パンフレット両面カラー